



2022年1月13日

各 位

会社名 株式会社 松屋
 代表者 代表取締役社長執行役員 秋田 正紀
 (コード番号 8237 東証第一部)
 問合せ先 総務部コーポレートコミュニケーション課
 課長 関 泰程
 (TEL. 代表 03-3567-1211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年4月14日に公表いたしました2022年2月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2022年2月期通期業績予想数値の修正（2021年3月1日～2022年2月28日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	68,000	△1,400	△1,500	△1,400	△26.37
今回発表予想(B)	65,000	△2,300	△2,200	△1,900	△35.81
増減額 (B-A)	△3,000	△900	△700	△500	—
増減率 (%)	△4.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2021年2月期)	52,730	△3,904	△3,957	△4,417	△83.22

(2) 個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	62,000	△1,300	△1,300	△24.47
今回発表予想(B)	59,000	△2,000	△2,200	△41.40
増減額 (B-A)	△3,000	△700	△900	—
増減率 (%)	△4.8	—	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2021年2月期)	47,347	△4,155	△4,303	△81.00

(3) 修正の理由

本日開示の2022年2月期第3四半期（累計）の実績につきましては、主力の百貨店業におきまして、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた緊急事態宣言が10月から解除されたことにより、足元の業績は回復傾向にあります。

しかしながら、海外では新型コロナウイルスの感染拡大が依然続いており、先行きが不透明な状況であることや、一部の売場の臨時休業や営業時間の短縮を余儀なくされたこと等の影響が大きく、期初の計画の達成は難しい見通しとなりました。また、飲食業についても、婚礼・宴会の中止・延期が続いており、計画を下回って推移しております。

このため、第3四半期（累計）の実績ならびに足元の業績動向を踏まえ、2022年2月期の通期業績予想を見直した結果、連結の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益および個別の売上高、経常利益、当期純利益がそれぞれ前回予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上